

スクすく子育て



子どもの発達に関する相談窓口が移転しました

4月から「子どもの発達に関する相談窓口」が、こども発達支援センター「ふわり」から、子育て応援課こども相談係内（市役所本庁舎1階北側）に移転しました。



子どもの発達に関する相談窓口には、臨床心理士・保育士・保健師など、子育ての専門家がそろっており、内容に応じたアドバイスを行います。お子さんの発達などで不安のあるときは、まずは相談窓口へご相談ください。

相談窓口／子育て応援課こども相談係内

【お子さんの発達に関して】

- 言葉が遅いかもしれない
 - 名前を呼んでも振り向いてくれない
 - 視線が合わない
 - 落ち着きがなくて、いつも動き回っている
 - 泣き出すとなかなか泣き止まないなど
- 【幼稚園・保育園・小学校などに関して】
- もうすぐ入園（入学）。大丈夫かな
 - 友達とちゃんと遊べているかな
 - いつもみんなから外れているみたい



お話しを始めるために必要なことってなんですか？



お父さん・お母さんはみんな、子どもの成長が楽しみです。一方で「発育が遅れないか」「自分の接し方が間違っていないか」など、不安を抱く人も多いでしょう。今回は「子どもの話し始めが遅れているのかも」と心配しているお母さんからの質問と、その回答を紹介します。

【質問】

2歳の男の子を持つ母親です。同じくらいのお友達は「パパ行った」「ママ来て」などのおしゃべりをしますが、うちの子は単語を5つくらいしか話せません。どうしたら良いでしょうか？

【回答】

同じくらいの子どもと比べて、お話しがゆっくりだと心配になりますよね。言葉には個人差がありますが、お話しをするためには、いくつかの要素が必要になってきます。その要素について、詳しく説明します。

①いろいろな音が聞こえていますか？

耳から入る音や声が言葉の「まなび」の源です。

例…後ろから名前を呼ぶと振り向くなど

②パパやママの言うことが分かっていますか？

子育て応援課（こども相談係）☎ 36-7408

「しまだ子育てカレンダー」QRコード⇒

子育てママ&パパに役立つ情報を満載

■<http://shimada-kosodate.appspot.com/>



○先生のお話をちゃんと聞けているのかな

○みんなと同じようにやれているのかな など

ー 親子学習会「つくしんぼ」ー

親子でふれあう時間を大切にしています

親子学習会「つくしんぼ」は、健診後のお子さんの成長をみんなで見守る教室です。専門的なスタッフや同じ悩みを持つお母さんが多数参加しているため、「支援センターだと子どもの行動が目立ってしまう」「子どもが上手にお友達を作れない」というお母さんたちが、よく遊びに来ています。子どもの発達に関する相談窓口で「つくしんぼ」への参加をお勧めする場合もあります。

参加者の声

Aさん「子どものことを心配しているお母さん同士で、同じ悩みを話すことができます。そのため、子どもが手を出しても、快く許してもらえて助かります」

Bさん「つくしんぼでは、子どもが笑顔いっぱい、いつも楽しそうです。心配していた言葉も、少しずつ増えてきました。専門の人に相談できるから安心です」

※詳しくは、子育て応援課こども相談係へご相談ください。

分かっていれば、理解するための脳の働きが整っている証拠です。

例…「パパ、どこ？」と聞くとパパの方を見るなど

③パパやママと遊ぶことが好きですか？困った時はパパやママの所に行きますか？

パパやママを好きという気持ちが、相手のまねをしたり、相手と同じものを見たりする力につながります。同じことをすることが、言葉の基礎となります。

④声を出して笑っていますか？

言葉を話すためには、声を上手に使うことが大切です。

例…テレビの歌をまねて少しでも一緒に歌う、リズムをとるなど

▷必要な要素が備わってくれば、話し始める第一歩と言えます。あなたのお子さんはいかがですか？気になることがありますたら、お気軽に子育て応援課へご相談ください。

